

## 序 文

調査研究部ではかねてから公共職業訓練における訓練技法の近代化に寄与する目的で、プログラム学習、教育工学等の導入について検討して来た。この間、先行する導入実験がどのように行われているかについて広範な調査を並行して行なっているが、本調査はその一環であって、我国工業高校における導入の実体に関するものである。公共職業訓練校にこれらの手法を普及させる場合どのような注意が払われるべきかについて本調査は少なからぬ示唆を与えるものと信ずる。

プログラム学習と云い、教育工学と云っても、単にそれが生の形で訓練校に適用されることは所詮不可能である。訓練校に適するよう変形され、噛みくだかれねばならない。それはいわば訓練校用ソフトウェアの開発と云ってもよい。調査研究部におけるそれも漸く緒についたところである。職業訓練御関係者が今後共暖かい眼で見守って戴くことを願って止まない。

調査研究部長

工学博士 宗 像 元 介

発行 昭和46年3月31日

発行者 職業訓練大学校

調査研究部長 宗像元介

職業訓練大学校

東京都小平市小川西町2260

TEL 0423 - 41 - 3331